

# 令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

八百津町教育委員会

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的（文部科学省実施要領より）

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教科指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### (2) 調査の対象学校・対象学年

- ①対象学校・・・八百津町内全公立小中学校〔小学校5校、中学校2校〕
- ②対象学年・・・小学校第6学年、中学校第3学年

### (3) 調査内容

- ① 教科に関する調査〔国語、算数・数学、理科〕
- ② 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

### (4) 調査日 令和4年4月19日(火)

## 2 教科に関する調査結果の分析

（分析の記述後段の数字等は問題番号。調査問題等は国立教育政策研究所HPで公開されています。）

### 小 学 校

#### ◇よくできていること

#### 【国 語】

- ・登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉えることができる。（物語を読んで、推測する問題）・・・2一（1）
- ・人物像や物語の全体像を具体的に想像する。（物語を読んで、推測する問題）  
・・・2二
- ・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。・・・3三ア

#### 【算 数】

- ・二つの数の最小公倍数を求めることができる。（目的に応じて数量の関係に着目し数の処理の仕方を考察する問題）・・・1（2）
- ・数量が変わっても割合は変わらないことを理解している。（割合と基準量から、比較量を求めることができるようにする問題）・・・2（3）
- ・正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。（図形の構成の仕方について考察して、改善することができるようにする問題）・・・4（1）

## 【理 科】

- ・観察で収集した情報と追加された情報を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。（結果や自他の考えを基に、まとめを検討し、改善し、より妥当な考えを作り出すことができるようにする問題）・・・1（2）
- ・昆虫の体のつくりを理解している。  
（知識をより深く理解できるようにする問題）・・・1（3）
- ・観察などで得た結果を、結果からいえることの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。  
（結果を複数の視点で分析・解釈できるようにする問題）・・・4（3）

## ◆考えていきたいこと

### 【国 語】

- ・話し合い活動における互いの発言の表現について、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。（実際の学級における話し合い活動の場面を想定した、互いの発言の在り方を問う問題）・・・1二
- ・必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える。（実際の学級における話し合い活動の場面を想定した、互いの発言の在り方を問う問題）・・・1三
- ・自分の文章に対して仲間と感想や意見を伝え合う場面で、相手の発言から自分の文章のよいところを見付ける。（実際の仲間と感想や意見を述べ合う場面を想定した、助言されたことを理解し自分に生かそうとすることを問う問題）  
・・・3二

### 【算 数】

- ・示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる。  
（日常生活において数の大きさを見積もるために概算して判断する力を問う問題）  
・・・1（4）
- ・百分率で表された割合と基準量から、比較量を求めることができる。  
（問題場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉える問題）・・・2（2）
- ・分類されたデータを基に、目的に応じてデータの特徴を捉え考察できる。  
（分類整理されたデータについて、目的に応じて筋道を立てて考察する問題）  
・・・3（2）

### 【理 科】

- ・提示された情報を、複数の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。（生命に関する問題）・・・1（4）
- ・メスシリンダーという器具を理解している。・・・2（1）
- ・自分で発想した予想と実験の結果を基に、問題に対するまとめを検討して、改善し、自分の考えをもつことができる。（実験の結果を基にしたより科学的な考えへの検討・改善についての問題）・・・2（3）

## 中 学 校

### ◇できていること

#### 【国 語】

- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫することができる。  
（スピーチをする場面を想定した問題）・・・1一
- ・行書の特徴を理解している。  
（毛筆の授業における話し合い活動を想定した問題）・・・4一
- ・発言内容を理解し適切なものを選択することができる。  
（毛筆の授業における話し合い活動を想定した問題）・・・4三

#### 【数 学】

- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる。・・・2
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。  
（構想を立てて説明し、総合的・発展的に考察する問題）・・・6（3）
- ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。  
（日常的な事象の数学化と問題解決の方法について問う問題）・・・8（1）

#### 【理 科】

- ・モデルを使った実験において、変える条件と変えない条件を制御した実験を計画することができる。・・・1（2）
- ・化学変化に関する知識及び技能を活用して、水素の燃焼を分子のモデルで表した図を基に化学反応式で表すことができる。・・・3（1）
- ・課題に正対した考察を行うためのグラフを作成する技能が身に付いている。  
・・・5（2）

### ◆考えていきたいこと

#### 【国 語】

- ・表現の技法について理解している。（小説）・・・3一
- ・場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。（小説）・・・3三
- ・自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫して話す。  
（スピーチをする場面を想定した問題）・・・1三

#### 【数 学】

- ・自然数を素数の積で表すことができる。（素数、素因数分解の理解）・・・1
- ・反例の意味を理解している。（反例）・・・3
- ・筋道を立てて考え、事柄が成り立つ理由を説明することができる。（見いだした図形の性質を、与えられた条件を基に考察すること、証明）・・・9（2）

#### 【理 科】

- ・他者の考えについて、多面的、総合的に検討して改善することができる。（観測

データの読み取りが適切であるかなどの視点を明示できるようにする問題)

・・・2 (3)

- ・状態変化に関する知識及び技能を活用することができる。(身近な現象で活用できる程度に概念等を理解できるようにする問題)・・・7 (1)
- ・分類の観点や基準を基に分析して解釈することができる。(共通点や相違点に基づいて動物を分類する問題)・・・8 (3)

### 3 今後、さらに学力向上を図るため推進すること

- ICT機器(電子黒板・タブレット端末等)を有効利用する。
- 授業において「本時のねらい→課題→学習活動→定着の評価」の過程を確立させ、ねらいから評価までの一体化を図る。
- 個に応じたきめ細かな指導を充実し、どの子にも、基礎的基本的な知識や技能の定着を図る授業を行う。
- 家庭との連携を充実し、家庭学習の定着を図る。
- 朝の読書活動や授業における教材と関わらせた読書活動の充実を図る。

### 4 生活習慣や学習環境に関する調査結果の分析

#### 小学校

◇良い結果であったこと

- ・朝食を毎日摂る。毎日同じ時間に起きる、寝る。
- ・人が困っているときには進んで助けている。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。
- ・人の役に立つ人間になりたいと思う。
- ・友達と協力するのは楽しい。

◆考えていきたいこと

- ・地域や社会のために何をすべきか考える。
- ・読書活動の充実を図る。

#### 中学校

◇良い結果であったこと

- ・朝食を毎日摂る。毎日同じ時間に起きる、寝る。
- ・自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている。
- ・人が困っているときに進んで助けている。
- ・人に役立つ人間になりたいと思う。
- ・いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。

◆考えていきたいこと

- ・家での学習や読書の時間において自分で計画を立てて取り組む。
- ・地域や社会のために何をすべきか考える。

## 5 今後、生活全般において「生きる力」をさらに育成するために

- すべての子どもたちに、地域や社会のために役立つ『夢・志』をもたせていく。そして、その実現のため努力させていく。
- たくましく生き抜いていく子どもを育てるために『生きる力の育成』を図っていく。子どもたちに、『確かな学力』、『思いやりの心』、『健康や体力の向上』などを一層磨き、一人一人を輝かせていく。
- 『子どもたちを磨き鍛えること』、『関わり合いの教育を進めること』、『当たり前のことは当たり前でできること』に、こだわっていく。
- 地域とのつながりを大切にした取組の充実を図る。